

社協だより

No.108

令和4(2022)年 2月10日発行

発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人

三次市社会福祉協議会

〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター内

☎ (0824) 63-8975(代表)

☎ (0824) 63-3340(地域福祉課)

FAX (0824) 62-6827

E-mail:mycity@cc.wakwak.com

http://www.miyoshi-shakyo.com/

地域共生に向けた第一歩！

福祉教育からはじめています



主な内容

- 2P… “障害”への理解に関する啓発授業
- 3P… “障害”への理解に関する啓発授業
- 4P… 第5次地域福祉活動計画中間評価
- 5P… 家族介護者交流のつどい ほか
- 6P… まごころ
- 7P… 点訳ボランティア入門講座案内 ほか
- 8P… お知らせ情報コーナー

令和3年度から、三次市
身体障害者連合会と連携して、
当事者発信の取り組み「“障害”への理解に関する啓発授業」を
はじめています。
活動の様子を2・3ページにて紹介しています。



地域共生に向けた
第一歩！

福祉教育から はじめています



令和3年度から、三次市身体障害者連合会と三次市社協と一緒に、市内の小・中学校に出向いて授業を行う「“障害”への理解に関する啓発授業」に取り組んでいます。

これは、地域で暮らす障害者の生活や課題、取り組み等について関心を深めてもらえるよう、積極的に当事者発信の働きかけをしていこうというものです。

人との出会いや交流機会をつくり、関りを増やしていくことで、地域共生社会の実現に向けた取り組みをすすめています。

これまでの活動

令和3年5月18日(火)

三和小学校 5年生 13名

「障害についての理解を深めよう」というテーマで、視覚障害の当事者としての経験・思いを話されました。子ども達には“音の出る信号機”の役割を考えてもらったり、当事者への声かけなど、自分たちにできる手助けについて考えてもらいました。



令和3年10月21日(木)

十日市中学校 1年生 105名

視力が低下して支えが必要となった時「“助けてください”と声を出すのは勇気がいったが、皆がやさしく応えてくれるので安心します」と話されました。

「困っている人を見かけたら、自分から声をかけたい。」と感想がありました。



人前で話すのは緊張したなあ…
でも、少しずつ慣れてきました。

令和3年11月5日（金） 布野中学校 全校生徒・保護者 40名

「あるがままの自分を受け入れた74年」というテーマで、聴覚障害の当事者としての経験や、日常生活で思うことなどお話ししてもらいました。「幼い頃は困ることが多かったが、先生や周りの人の支えがあり目標を持って過ごすことができた。困っている人がいたら声をかけてください」と伝えられました。



令和3年11月26日（金） 田幸小学校 全校生徒 48名

「見えないってどういうことだろう…」と考えてもらうため、三次市障害者支援センターに作ってもらったスペシャル動画「くーまさんのお散歩」の上映や、弱視体験メガネを使って“見えにくい”体験をしてもらいました。

授業後、子ども達一人一人から、お手紙をいただきました。ありがとうございました。



※「くーまさんのお散歩」は「三次市障害者支援センター YouTube チャンネル」からご覧いただけます。ぜひ見てみてください。



三次市社会福祉協議会 第5次地域福祉活動計画中間評価

三次市社会福祉協議会では、令和元年から令和5年度の5か年計画の「第5次地域福祉活動計画」に基づき「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」を目標とし、事業を進めています。

令和3年度は中間年にあたり、4つの重点目標をもとに実施した地域福祉事業(19事業)の進捗状況や課題を整理し、社協内部で評価を行いました。

また、「地域福祉活動計画中間評価委員会」を設置し、内部評価や地域福祉活動に対する意見や情報を伺いました。

評価委員会からは、「権利擁護支援の取組については、関係機関の立場から市民後見人や生活支援員の活動に支えられている」や「ボランティアや地域の活動者が減少しているので、新たな担い手や活動につながる取組が展開されることを期待します」などの意見がありました。

残りの期間、地域の皆様や各関係機関、団体と連携し取り組んでまいりますので引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



第5次地域福祉活動計画で取り組む目標

地域共生社会の実現に向けた地域づくり

重点目標

重点目標1 地域の実情に応じたお互いさまのまちづくりに取り組みます。

- ①市内19地域の課題とニーズを整理し、地域と共有して課題解決に取り組みます。
- ②サロンや見守り、生活支援など地域の福祉力を高める活動づくりに取り組みます。
- ③関係者と協力しながら被災者を支える体制づくりに取り組みます。

重点目標2 地域で自分らしく暮らせる支援の体制を整えます。

- ①生活課題を抱える方が適切な支援を利用できるような環境をつくり支えます。
- ②多様化するニーズに対応できるよう、福祉の“支え手”を増やしていきます。

重点目標3 地域と協働し、地域課題の解決に取り組むネットワークをつくります。

- ①地域福祉を進めるために、さまざまな人材や団体をつなげるネットワークづくりを進めます。
- ②コーディネート機能を拡充し、市社協の役割として認識を高めます。

重点目標4 お互いに思いやる気持ちを高めるための情報を発信します。

- ①多くの地域住民が福祉に関心を持ってもらえるよう、福祉情報を発信します。
- ②地域・世代を広く対象とした“福祉教育”に取り組み、「地域共生社会の実現」についての理解をひろめていきます。

家族介護者交流のつどいを開催しました

12月1日(水)、10名の方にご参加いただき、十日市きんさいセンターで“家族介護者交流のつどい”を開催しました。

日々の介護から少し離れ、心のリフレッシュを図ることを目的に「フラワーアレンジメント」を実施しました。

西川香花園の田中さんから、お花の種類や心を癒す植物の効果などを学びながら花を生けました。同じ材料を使っているにもかかわらず、個性的で素敵な作品になりました。

日頃の介護の工夫や情報交換をしたり花に触れたり、同じ介護者同士で交流をしてリフレッシュしていただけました。



冬休み、寒い日でもみんな元気に来てくれました

12月24日～1月6日の間、「障害児生活訓練事業」を開催しました。

夏休み等長期休暇中の活動場所として、日常生活上の必要な支援を行っています。

参加した子ども達も、長期休暇中にしか会えないお友達と久しぶりに会ってうれしそうなお顔を見せていました。次回、春休みにまた会いましょう♪



プルタブ寄付についてのご報告

当会で、地域のみなさまから収集したプルタブを換金し、福祉用具の購入や災害支援などの寄付を行う取り組みについて、令和3年度は約130kg、11,700円が集まりました。

このたび、過去の寄付分と合わせて、総額38,380円を「令和3年度8月広島県大雨災害義援金」として被災地に寄付させていただいたことを報告します。

皆さまのご協力と温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。



まごころ

たくさんのご寄付ありがとうございました。

お預かりしましたご寄付は、各地区社協の活動費、市社協の地域福祉事業へ大切に活用させていただきます。

(介護保険事業には充当しておりません)

令和3年11月21日
～令和4年1月20日受付分

- ①本会への寄付金については所得税法による寄付金控除が受けられます。
- ②寄付者ご本人の承諾のもと氏名等を掲載しています。

本所

●香典返し

南畑敷町	田村 昭二
十日市東	坂井 朝照
下志和地町	竹添 公二
大阪府大阪市	高橋 佳子
三良坂町灰塚	宮脇 静人
大阪府松原市	徳永 克彦
大田幸町	黒瀬 隆則
高杉町	久保 昇
三若町	山田 敬子
上川立町	中森 豊
塩町	中井 幸治
栗屋町	高専寺伊津子
栗屋町	亀崎 廣司
下志和地町	井上 勢至
高杉町	山口 浄
四拾貫町	原田かつこ

●見舞い返し

島敷町	龜谷 宏美
石原町	久保井典幸
三次町	東 孝久
十日市中	楠 幸治
糸井町	川崎 町子
上川立町	上馬場弘子
島敷町	川戸 良貴
十日市町	川戸 良貴
下志和地町	升本 明良
十日市南	児玉 政則
石原町	垣 隆美
島敷町	福藤 隆治
●見舞い返し	土居 龍生
栗屋町	清古 裕司
●一般寄付	
有限会社	
オフィス・サンリバー	

君田支所

●香典返し

西入君	永谷 仁和
十日市南	下土居 寿
石原	小林 敏博
東入君	松尾 宏
●一般寄付	
茂田	小田 勝久

布野支所

●香典返し

南畑敷町	森田 薫壮
横谷	森田 広美
上布野	天野 鉄男
●見舞い返し	
上布野	天野ヨシノ
上布野	廣田 幸男
横谷	岩本 令子
下布野	大前 常子

作木支所

●香典返し

下作木	原田 満昭
-----	-------

吉舎支所

●香典返し

辻	竹尾ユキエ
安田	峠 裕太郎

島根県出雲市斐川町

敷地	樋野あち子
安田	福原 隆則
丸田	青木 郷
神奈川県横浜市	桑原 隆博
●一般寄付	
吉舎	福場 義憲
三玉	片山 正浩
	免田 福一

三良坂支所

●香典返し

灰塚	宮脇 静人
三良坂	木村 敏也
三良坂	山永 弥生
灰塚	山田 安子
大阪府豊中市	竹保 孝男
仁賀	末石 章二
三良坂	上谷 勲

三和支所

●香典返し

上板木	佐々木光昭
上壺	重光 寿
敷名	細美 好宏
上板木	山口 正秀
敷名	津島 淳
●見舞い返し	
敷名	林 英機

上板木

●一般寄付	
福田	竹川 易廣
●香典返し	
梶田	平川 和雄
拔湯	岡崎 清
梶田	立田 正昭

江水園

●一般寄付

森山東	原田 廣好
-----	-------

三次市社協が行う福祉サービスへの
苦情や**ご意見**はございませんか？

三次市社協 苦情解決をご利用ください

【苦情の受付】
面接、電話、書面などにより苦情解決受付担当者が随時受け付けます。第三者委員に直接申し出ることもできます。

【第三者委員】
西奥建次郎 〒729-4207 吉舎町敷地 1016-1 ☎0824-43-3056
長谷川眞義 〒728-0211 布野町横谷 57 ☎0824-54-2188
横田 正治 〒728-0025 栗屋町 622-6 ☎0824-63-6808

☎三次市社協への寄付金の使途
社会福祉法人三次市社協への寄付金は、7割が寄付者の地区社協の活動資金、残り3割が三次市社協の実施する地域福祉事業に充当されます。また、個人は所得税法の寄付金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます。(確定申告時に当会発行の領収書が必要)

令和4年度

「ボランティア活動保険」の加入について

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の「ケガ」や「損害賠償責任」を補償する保険です。令和4年度から、「特定感染症重点プラン」が加わりました。詳しくはお問合わせください。

加入対象 無償のボランティア活動を行っている、三次市ボランティアセンターへ登録されているグループまたは個人

年間保険料 基本プラン 350円
天災・地震補償プラン 500円
特定感染症重点プラン 550円

補償期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
※中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から令和5年3月31日まで

加入受付 令和4年度加入受付は、3月上旬から市社協本所および各支所で行います。

盲導犬の話と沖田孝司 ヴィオラ演奏会

入場無料



- 日時 3月12日(土) 13:00～15:30
- 場所 三次市福祉保健センター4階 ふれあいホール
- 内容 第1部 13:00～13:50
*盲導犬のお話と実演
島根あさひ盲導犬訓練センター
ハピネス
第2部 14:00～15:30
*沖田孝司ヴィオラ演奏会
- 主催 三次点訳サークル“ほおずき”



男性介護者交流のつどい

- 日時 2月24日(木) 10:00～12:00
 - 場所 三次ふれあい会館 (三次市三次町1828-5)
 - 対象 三次市内にお住まいの方で、要介護1以上の認定を受けられた方を在宅で介護されている男性介護者の方
 - 内容 まるっとわかる！食事と栄養～あつというまにできる簡単料理の紹介～
 - 講師 本藤 望美さん(管理栄養士)
 - 定員 10名(申込先着順)
 - 参加費 無料
 - 申込締切 2月14日(月)
- ※送迎が必要な方はご相談ください。

点訳ボランティア入門講座を開催します

点訳ボランティアとは、墨字(活字)で書かれている書籍や広報誌などの内容を、点字にして伝えるボランティアです。点字は、視覚障がい者の情報収集支援・コミュニケーション手段として、とても重要なものです。この機会に点字の世界に触れてみませんか？ぜひ、ご参加ください。



- 日時 2月26日(土) 13:30～16:30
- 場所 三次市福祉保健センター2階 ボランティア室
- 対象 点訳技術・点訳ボランティアに関心のある方
- 定員 10名程度
- 内容 *視覚障がいについての学習
*点字の基礎・点訳実技など
- 受講料 無料
- 申込締切 2月21日(月)
- 共催 三次点訳サークル“ほおずき”



令和3年度赤い羽根共同募金のお礼と報告 (三次市共同募金委員会)

皆さまのご協力、大変ありがとうございます。
「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに10月1日より赤い羽根共同募金活動を行ってまいりました。その間に市民の皆さまからお寄せいただいた募金総額は、12月末の時点で**9,223,597円**でした。

募金していただいた皆さまや募金活動にご協力いただいた地域の皆さまに厚くお礼申し上げます。この募金は、来年度三次市内の福祉活動を行おうとする団体からの配分申請を審査し、地域への福祉活動へ還元されます。

※各ご案内等について、コロナウイルス感染症の状況によっては中止・変更する場合があります。

お問い合わせ
三次市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 0824-63-3340
FAX 0824-62-6827
または、お近くの市社協各支所まで

お知らせ情報コーナー

2・3・4月の予定

ふれあい福祉相談

～安心は相談から 秘密厳守 相談無料～
 場所 三次市福祉保健センター 2階相談室

種 別	相 談 日	時 間	相 談 員
心配ごと相談	月曜日～金曜日 (祝日は除く)	8:30～17:30	社会福祉協議会 専門職員
介護相談			
権利擁護相談			
電話相談	☎0824-63-3340		
法律相談	年3回	13:00～15:00	弁護士
	※次回の開催は5月を予定しています。		
手紙(FAX)相談	宛先 〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号 「三次市社会福祉協議会相談室」 FAX 0824-62-6827		
電子メール相談	E-mail: fureai-soudan3@ca.wakwak.com (専用アドレス)		

ボランティア活動保険・行事用保険

	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険
内 容	ボランティア活動中における、さまざまな不測の事故によるケガや賠償責任を補償します。	
保険料	基本プラン 1人 350円 天災・地震補償プラン 1人 500円	1名 1日あたり 28円 最低保険料 560円
補償期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで *中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から 令和4年3月31日まで	行事開催期間 *詳細はお問合わせください。

*ご加入はお近くの市社協本所および各支所へお申し込みください
 *ボランティア活動保険の加入には三次市ボランティアセンターへの登録が必要となります
 *行事用保険について、現金で払込みをする場合は1月17日より料金が加算されることになりました(110円/件)

各種定例会

- ◆場所 いずれも三次市福祉保健センター
- 要約筆記サークル「うかい」定例会
【開催日時】毎月第2・4水曜日18:30～20:00
 - 三次朗読奉仕者友の会定例会
【開催日時】毎月第3土曜日13:30～16:30
 - 点訳サークル「ほおずき」定例会
【開催日時】毎月第2・4火曜日18:30～20:00
 - 手話サークル「ゆい」定例会
【開催日時】毎週土曜日13:30～15:00
※会場が変更になる場合があります。
参加を希望の方は事前にご連絡ください。
(三次市社会福祉協議会 電話 63-3340 FAX 62-6827)
 - 三次手話サークル「竹」定例会
【開催日時】毎月第1・3・5木曜日18:30～20:00

貸出・派遣

- 録音テープの貸出
市広報や市議会だより、市社協だよりなどの録音テープを、視覚障がい者の方へ貸し出しています。
- 手話・要約筆記の派遣
聴覚、音声、言語機能等に障がいがある方へ、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しています。
お問合わせは三次市社会福祉協議会地域福祉課へ
電話 0824-63-3340 FAX 0824-62-6827

編集後記

一年で最も寒い時期ですが、暦の上では春の始まりです。寒さが極まり、温かさへ転じて次の季節へ移っていく時期と考えると気分も違ってきますね。
 気持ちを新たに本年も取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。